

「立ち直り」のお手伝い

みんなが安心して暮らせる 明るい社会を築くために

厚別区社会福祉協議会は区内の地域福祉の推進を図るため、多くの施設・事業所・団体等のご協力をいただきながら事業を進めています。「シリーズ 正会員紹介」では、正会員として厚別区社会福祉協議会を支えていただいている皆さんをご紹介します。

第5弾は、「保護司会」「更生保護女性会」の2つの団体です。それぞれ、ボランティアとして、犯罪や非行をした人が罪を償った後に、地域社会に戻る時にサポートする団体です。

厚別区保護司会

—保護司の役割と活動

保護司は、更生保護法に基づき、法務大臣から委嘱を受けた非常勤の国家公務員で、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティアです。厚別区では現在40名の保護司が活動しています。

刑事施設や少年院から仮釈放・仮退院となり、社会復帰を果たした時に住居や就業先などの相談を受け、地域での更生をサポートすることになります。また、犯罪や非行のない地域社会を築くため、地域の見守りや立ち直りについて、公開セミナーなどを開きながら、理解を求める活動も行っています。

—活動の魅力

地域に貢献できるということです。保護司の諸先輩から実態を聞くにつれ、犯罪や非行を行ってしまった人が社会復帰できるように努めることで、地域に貢献できるんだ、それが自分の使命の一つだと思っています。(山本会長)

—活動して感じた喜びややりがい

対象者の観察時期が終了した後、その母親と偶然出会った時に「息子、結婚して子どもが生まれました」と、うれしそうに携帯の写真を見せてもらいました。面接

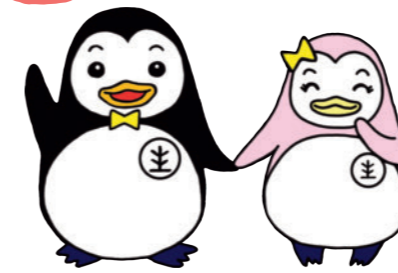


会長 ^{やまもと やすじ} 山本 康次さん 副会長 ^{たなか ちかのり} 田中 親憲さん

では苦労したけれど幸せになったんだと、安堵の喜びが沸き上がった瞬間でした。(田中副会長)

—地域の皆さんへ

更生保護とは「立ち直り」を助ける活動です。再犯防止のためには、雇用主となる様々な団体・企業にも協力してもらう必要があります。そして、戻ってきた地域に暮らす皆さんのご理解が必要となります。この活動は、ひいては、みんなが安心して暮らせる安全で明るい社会を築くことにつながります。まずは、私たちの活動に関心を持ってもらえれば幸いです。



更生ペンギン ホゴちゃん サラちゃん

厚別更生保護女性会

—更生保護女性会の活動

保護司と同じく、犯罪や非行をした人の立ち直りをお手伝いするボランティアです。更生保護施設など訪問し、食事作りなどを行っています。おかわりをする人も少なくありません。皆さん、この日を楽しみにしてくれているそうです。少年院から出院する時の食事会で、カレーライスや唐揚げをたくさん作って、一緒に食べることもしていました。会話としては少なくとも、家庭の味を懐かしんでいる様子がわかりました。

—活動の魅力

食事を作ったり、訪問したりすることで喜んでもらえるのが、私たちの喜びでもあります。コロナ禍に中止となっていた少年院の運動会への参加も、再開しております。同じ時間を過ごすことで「自分の親を思い出した」と言ってもらい、礼状が届くこともありました。会員同士とともに活動し、勉強し、笑顔でお疲れ様と言い合えるのも魅力です。この活動をしてきたことで、地域の子どものイベントにも声をかけてもらいました。子どもたちの笑顔に感激しました。

—私たちと一緒に

「何をしている会なの?」と聞かれることがよくあ



厚別区民まつりでもPR活動をしています

保護司、厚別区保護司会、厚別更生保護女性会についてもっと知りたい方は、

厚別区更生保護サポートセンター TEL011-896-0937
札幌保護観察所企画調整課 TEL011-261-9225



会長 ^{くりう りょうこ} 栗生 良子さん 副会長 ^{まるやま ようこ} 丸山 洋子さん

ります。もっと多くの皆さんに私たちの活動を知ってほしいと思っています。

仕事をしながら、時間のある時にできることだけを活動しているメンバーもいます。この活動が生きがいになっている方もいらっしゃいます。一緒に活動してくださるメンバーを増やしていきたいと考えています。



「ぬりえ」を子どもたちに配ってPRする活動もしています